

## 令和5年度 英語学習実施状況について

金沢市立額小学校

## ①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和6年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	16.0	42.0	30.0	12.0	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	61.0	34.0	1.0	3.0	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に 役立っている。	31.0	49.0	16.0	3.0	0.0
問4	英語の授業の内容が分かる。	49.0	45.0	6.0	0.0	0.0
問5	先生や友達に英語で質問することが できる。	31.0	45.0	22.0	1.0	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答 えることができる。	25.0	52.0	16.0	6.0	0.0
問7	アルファベットの大きい文字が書ける。	79.0	16.0	3.0	1.0	0.0
問8	アルファベットの小さい文字が書ける。	78.0	16.0	4.0	1.0	0.0
問9	教科書やピクチャーディクショナリー の単語や英文を書き写すことができる。	70.0	22.0	6.0	1.0	0.0
問10	教科書の単語や英文を読むこと ができる。	37.0	46.0	9.0	7.0	0.0

## ②指導改善の具体策

- ・英語の授業の内容は理解しており、「書く」「読む」技能も身に付いていると感じている児童は8割を超え、高い結果であった。しかし、「先生や友達に英語で質問することができる」「先生や友達に英語の質問に答えることができる」と回答した児童は8割を若干下回る結果となった。4技能を意識しながらも、「聞く」「話す」力を付け、自信をもてるようにしていくために、段階的に英語を聞かせたり、英語でのやり取りや発表を積極的に行ったり、外国の方との交流を取り入れたりして、身に付いた力を実感できるようにしていく。
- ・「英語の勉強が好きだ」と回答した児童の割合は、昨年度に比べて上昇したものの、6割程度と低い結果であった。英語学習が楽しいと思えるように、授業のゴール設定や教材の工夫、外国の方との交流を増やすようにし、授業改善を図っていく。

## ③学校関係者評価

- ・英語への苦手意識は6年生の段階ではすでにできあがってしまっているように思える。英語が好きだという児童を増やしていきたいのであれば、低学年、中学年といった早い段階でのアプローチが必要と思う。実践的な英語は表現することへの恥ずかしさも加わるように思うため、それもまた、早い段階で英語を話したり聞いたりする場面を増やしていくとよいと思う。9割を超える児童が英語の勉強を大切だと思っているという結果は、指導者側が英語の勉強を大切にしていることが読み取れ、とても評価できる。
- ・「書く」「読む」の技能が8割超えで出来ている事は、大変に良い事だと思う。「書く」「読む」の技能で身に付いていない子達の具体的なレベルが分からないので、先生方にはその子達に合った形で、技能の向上をお願いしたい。「聞く」「話す」の技能については、日常生活の中で英語にどれだけ接するのかの度合いもあるかと思う。また、英語が好きになるよう、先生方には工夫しながら、今後ともご指導をお願いしたい。
- ・児童の英語の必要性、重要性が高いことに関心と驚きを持った。今後とも子供たちが興味と楽しさをおぼえる授業内容にしていきたい。
- ・英語の好き、嫌いは半々ぐらいでよいのではないか。無理せず、まずは楽しく！小学生にとって英語は基礎科目ではないのだから。やはり第1は日本語の読解力だと思う。国語が強ければ将来英語も強くなる。
- ・「英語の勉強が好き」の解答にビックリした。「書く」「読む」も大切だが、コミュニケーション力が大切。英語を学ぶことで、どんなうれしいことがあるか、英語を話してコミュニケーションをとることで、どんな楽しいことがあるか体感することが大切であろう。